

令和3年度

(2021年度)

決算審査意見書

士別地方消防事務組合会計

士別地方消防事務組合監査委員

士 消 監 第 30 号

令和4(2022)年12月12日

士別地方消防事務組合
管理者 渡 辺 英 次 様

士別地方消防事務組合

監査委員 浅 利 知 充

監査委員 佐々木 広 行

令和3年度士別地方消防事務組合会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和3年度士別地方消防事務組合会計歳入歳出決算について審査したので、別紙のとおりその意見を提出します。

目 次

《決算審査意見》

1 審査の対象	1
2 審査の期間	1
3 審査の方法	1
4 審査の結果及び意見	1

《決算収支状況》

1 決算の概要	2
2 歳入	3
第1款 分担金及び負担金	4
第2款 使用料及び手数料	4
第3款 財産収入	5
第4款 寄附金	5
第5款 繰越金	5
第6款 諸収入	5
3 歳出	6
第1款 議会費	7
第2款 総務費	7
第3款 消防費	8
第4款 公債費	10
第5款 予備費	10

《財産に関する調書》	11
------------	----

(注)

- 1 文中に用いる金額は、原則として万円単位で表示しており、万円未満を切り捨てています。
- 2 各表中に用いる金額は、円単位で表示しています。
- 3 文中及び各表中の比率(%)は、少数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- 4 文中及び各表中の比率(%)の比較は、ポイントで表しています。
- 5 各表中の数値等の用法は、次のとおりです。
 - 「0.0」：「該当数値はあるが、0.05未満のもの」を表しています。
 - 「—」：「該当数値なし」及び「算出不能または無意味なもの」を表しています。
 - 「皆増」：比較増減で、「全数増加したもの」を表しています。
 - 「皆減」：比較増減で、「全数減少したもの」を表しています。
 - 「△」：比較増減での「減」を表しています。
- 6 上記のように処理した結果、文中及び各表中の数値と、その内訳の合計値とは、一致しない場合があります。

《決算審査意見》

1 審査の対象

令和3年度 士別地方消防事務組合会計歳入歳出決算

2 審査の期間

令和4年9月1日から令和4年12月9日まで

3 審査の方法

士別地方消防事務組合の歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等について、関係法令に準拠して調製または作成されているか、計数は正確か、予算執行・事務処理は適正か等に主眼をおいて審査しました。

また、関係部署に資料等の提出を求め、必要に応じ説明を受けて審査の参考としたほか、現金残高の確認、諸証券書類の検証については、別に法の定めるところにより実施している例月現金出納検査の結果を踏まえて審査をしました。

4 審査の結果及び意見

歳入歳出決算書、同事項別明細書及び実質収支に関する調書については、法令の様式を備え、表示された計数は正確であり、予算の執行状況についても諸帳簿と照合した結果、適正であると認めました。

財産の記録管理についても、関係諸帳簿と照合確認の結果、正確であり適正に処理されていると認めました。

歳入歳出決算及び予算執行等の状況については、次のとおりです。

《決算収支状況》

1 決算の概要

令和3年度の決算状況は〔表1〕のとおりで、歳入総額は9億4,441万円（予算現額に対する収入率は95.4%）、歳出総額は9億4,020万円（予算現額に対する執行率は95.0%）、歳入歳出差引額は420万円で、翌年度へ繰り越すべき財源がないため実質収支額は420万円となり、この剰余金を全額、令和4年度に繰り越しています。

〔表1〕 決算の概要

（単位：円、％、ポイント）

区 分	予算現額	歳入決算額		歳出決算額		歳入歳出 差引額 ③ (①-②)	翌年度へ繰り 越すべき財源 ④	実質 収支額 (③-④)
		収入済額 ①	収入率	支出済額 ②	執行率			
令和3年度	990,031,000	944,418,280	95.4	940,209,940	95.0	4,208,340	0	4,208,340
令和2年度	1,077,741,000	1,032,526,417	95.8	1,021,783,338	94.8	10,743,079	0	10,743,079
比較増減	△ 87,710,000	△ 88,108,137	△ 0.4	△ 81,573,398	0.2	△ 6,534,739	0	△ 6,534,739

歳入及び歳出決算額は〔表2〕のとおりで、前年度と比べ、歳入では8,810万円(8.5%)、歳出では8,157万円(8.0%)の減額となり、収支差引額は前年度より653万円(60.8%)の減額となっています。

〔表2〕 決算の年度別推移

（単位：円、％）

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年度増減	
	金額 ①	金額 ②	金額 (①-②)	増減率
歳入決算額	944,418,280	1,032,526,417	△ 88,108,137	△ 8.5
歳出決算額	940,209,940	1,021,783,338	△ 81,573,398	△ 8.0
収支差引額	4,208,340	10,743,079	△ 6,534,739	△ 60.8

〈参考〉 予算現額の状況

（単位：円）

区 分	予算現額	当初予算	補正予算 (第1号)	補正予算 (第2号)	補正予算 (第3号)
令和3年度	990,031,000	989,653,000	163,000	12,492,000	△ 12,277,000

2 歳 入

歳入決算の科目別収入状況は〔表3〕のとおりで、分担金及び負担金が9億2,452万円（構成比97.9%）、繰越金が1,074万円（構成比1.1%）、諸収入が798万円（構成比0.8%）、財産収入が74万円（構成比0.1%）、使用料及び手数料が41万円（構成比0.0%）となっています。

〔表3〕科目別収入状況

（単位：円、％）

区 分（款）	予算現額	調定額	収入済額	収入率		
				構成比	対予算	対調定
分担金及び負担金	981,547,000	924,529,971	924,529,971	97.9	94.2	100.0
使用料及び手数料	100,000	410,120	410,120	0.0	410.1	100.0
財 産 収 入	748,000	748,000	748,000	0.1	100.0	100.0
寄 附 金	1,000	0	0	-	-	-
繰 越 金	4,000	10,743,079	10,743,079	1.1	268,577.0	100.0
諸 収 入	7,631,000	7,987,110	7,987,110	0.8	104.7	100.0
合 計	990,031,000	944,418,280	944,418,280	100.0	95.4	100.0

歳入の市町別内訳は〔表4〕のとおりで、士別市が5億3,602万円（構成比56.8%）、和寒町が1億5,863万円（構成比16.8%）、剣淵町が8,649万円（構成比9.2%）、幌加内町が1億6,325万円（構成比17.3%）となっています。

〔表4〕市町別歳入決算内訳

（単位：円、％）

区 分（款）	士別市	和寒町	剣淵町	幌加内町	合 計
分担金及び負担金	527,500,000	152,355,990	83,785,739	160,888,242	924,529,971
使用料及び手数料	196,858	77,923	73,821	61,518	410,120
財 産 収 入	0	0	0	748,000	748,000
寄 附 金	0	0	0	0	0
繰 越 金	5,646,302	1,847,836	1,707,975	1,540,966	10,743,079
諸 収 入	2,685,510	4,357,347	923,653	20,600	7,987,110
合 計	536,028,670	158,639,096	86,491,188	163,259,326	944,418,280
構 成 比	56.8	16.8	9.2	17.3	100.0

（士別市の分担金及び負担金に剣淵町救急業務負担金17,000,000円を含む。）

第1款 分担金及び負担金

収入状況は〔表5〕のとおりで、収入済額は前年度より9,727万円減の9億2,452万円となっています。

〔表5〕収入状況

(単位：円、%、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和3年度	981,547,000	924,529,971	924,529,971	94.2	100.0
令和2年度	1,069,347,000	1,021,804,943	1,021,804,943	95.6	100.0
比較増減	△87,800,000	△97,274,972	△97,274,972	△1.4	-

構成市町の負担金の年度別収入状況は〔表6〕のとおりで、士別市が5億2,750万円(構成比57.1%)、和寒町が1億5,235万円(構成比16.5%)、剣淵町が8,378万円(構成比9.1%)、幌加内町が1億6,088万円(構成比17.4%)となっています。

〔表6〕年度別収入状況

(単位：円、%)

区 分	令和3年度		令和2年度		対前年度増減	
	金額①	構成比	金額②	構成比	金額(①-②)	増減率
士別市	527,500,000	57.1	600,000,000	58.7	△72,500,000	△12.1
和寒町	152,355,990	16.5	140,966,379	13.8	11,389,611	8.1
剣淵町	83,785,739	9.1	83,514,297	8.2	271,442	0.3
幌加内町	160,888,242	17.4	197,324,267	19.3	△36,436,025	△18.5
合計	924,529,971	100.0	1,021,804,943	100.0	△97,274,972	△9.5

第2款 使用料及び手数料

収入状況は〔表7〕のとおりで、収入済額は前年度より1万円増の41万円で、その主な内容は、設置許可申請手数料、変更許可申請手数料、完成検査手数料などで、件数は前年度と同じ26件となっています。

〔表7〕収入状況

(単位：円、%、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和3年度	100,000	410,120	410,120	410.1	100.0
令和2年度	100,000	391,050	391,050	391.1	100.0
比較増減	0	19,070	19,070	19.0	-

第3款 財産収入

収入状況は〔表8〕のとおりで、収入済額は74万円となっています。

〔表8〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和3年度	748,000	748,000	748,000	100.0	100.0
令和2年度	753,000	753,000	753,000	100.0	100.0
比較増減	△5,000	△5,000	△5,000	-	-

第4款 寄附金

収入状況は〔表9〕のとおりで、調定額及び収入済額はなく、前年度より皆減となっています。

〔表9〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和3年度	1,000	0	0	-	-
令和2年度	201,000	200,000	200,000	99.5	100.0
比較増減	△200,000	△200,000	△200,000	-	-

第5款 繰越金

収入状況は〔表10〕のとおりで、収入済額は前年度より923万円増の1,074万円となっています。

〔表10〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和3年度	4,000	10,743,079	10,743,079	268,577.0	100.0
令和2年度	3,000	1,507,765	1,507,765	50,258.8	100.0
比較増減	1,000	9,235,314	9,235,314	218,318.2	-

※令和3年度収入済額の市町別内訳…士別市5,646,302円 和寒町1,847,836円

剣淵町1,707,975円 幌加内町1,540,966円

第6款 諸収入

収入状況は〔表11〕のとおりで、収入済額は前年度より11万円増の798万円となっており、その主な内容は、高速自動車国道救急業務支弁金648万円（士別市216万円、和寒町432万円）、コミュニティ助成事業90万円（剣淵町）などとなっています。

〔表11〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和3年度	7,631,000	7,987,110	7,987,110	104.7	100.0
令和2年度	7,337,000	7,869,659	7,869,659	107.3	100.0
比較増減	294,000	117,451	117,451	△2.6	-

3 歳 出

歳出決算の科目別支出状況は〔表 12〕のとおりで、支出済額は9億4,020万円（執行率95.0%）で、その主な内容は、消防費が8億4,639万円（構成比90.0%）、総務費が9,251万円（構成比9.8%）などであり、不用額は4,982万円となっています。

〔表 12〕 科目別支出状況

（単位：円、％）

区 分 (款)	予算現額	支出済額		翌年度 繰越額	不用額	執行率
			構成比			
議 会 費	351,000	336,795	0.0	0	14,205	96.0
総 務 費	98,724,000	92,519,369	9.8	0	6,204,631	93.7
消 防 費	889,895,000	846,393,984	90.0	0	43,501,016	95.1
公 債 費	961,000	959,792	0.1	0	1,208	99.9
予 備 費	100,000	0	-	0	100,000	-
合 計	990,031,000	940,209,940	100.0	0	49,821,060	95.0

科目別支出の年度別比較は〔表 13〕のとおりで、前年度より減少した主なものは、消防費で6,184万円(6.8%)減の8億4,639万円、総務費で1,972万円(17.6%)減の9,251万円などとなっています。また、節別の年度別比較は〔表 14〕のとおりです。

〔表 13〕 歳出の年度別比較

（単位：円、％）

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年度増減	
	金額 ①	金額 ②	金額 (①-②)	増減率
議 会 費	336,795	330,250	6,545	2.0
総 務 費	92,519,369	112,239,413	△ 19,720,044	△ 17.6
消 防 費	846,393,984	908,243,525	△ 61,849,541	△ 6.8
公 債 費	959,792	970,150	△ 10,358	△ 1.1
予 備 費	0	0	0	-
合 計	940,209,940	1,021,783,338	△ 81,573,398	△ 8.0

〔表 14〕 支出済額の科目(節)別・年度別比較

（単位：円、％）

区 分 (節)	令和3年度		令和2年度		対前年度増減	
	金額 ①	構成比	金額 ②	構成比	金額 (①-②)	増減率
1 報 酬	22,094,966	2.4	22,196,717	2.2	△ 101,751	△ 0.5
2 給 料	330,725,342	35.2	338,067,380	33.1	△ 7,342,038	△ 2.2
3 職 員 手 当 等	288,515,444	30.7	287,425,160	28.1	1,090,284	0.4
4 共 済 費	116,505,960	12.4	117,654,354	11.5	△ 1,148,394	△ 1.0
7 報 償 費	796,473	0.1	851,379	0.1	△ 54,906	△ 6.4
8 旅 費	13,516,745	1.4	15,165,265	1.5	△ 1,648,520	△ 10.9
9 交 際 費	274,004	0.0	253,044	0.0	20,960	8.3
10 需 用 費	59,042,352	6.3	63,845,794	6.2	△ 4,803,442	△ 7.5
11 役 務 費	19,264,947	2.0	19,527,650	1.9	△ 262,703	△ 1.3
12 委 託 料	34,775,789	3.7	30,344,390	3.0	4,431,399	14.6
13 使 用 料 及 び 賃 借 料	2,649,116	0.3	2,714,751	0.3	△ 65,635	△ 2.4
14 工 事 請 負 費	7,073,000	0.8	29,293,000	2.9	△ 22,220,000	△ 75.9
17 備 品 購 入 費	18,240,266	1.9	68,901,759	6.7	△ 50,661,493	△ 73.5
18 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	23,643,644	2.5	21,487,398	2.1	2,156,246	10.0
22 償 還 金 利 子 及 び 割 引 料	959,792	0.1	1,813,797	0.2	△ 854,005	△ 47.1
26 公 課 費	2,132,100	0.2	2,241,500	0.2	△ 109,400	△ 4.9
合 計	940,209,940	100.0	1,021,783,338	100.0	△ 81,573,398	△ 8.0

第1款 議会費

組合議会の運営に要する経費であり、支出済額は〔表15〕のとおりで33万円となっています。

〔表15〕 支出状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
令和3年度	351,000	336,795	14,205	96.0
令和2年度	331,000	330,250	750	99.8
比較増減	20,000	6,545	13,455	△ 3.8

第2款 総務費

本部運営に要する経費であり、支出済額は〔表16〕のとおりで前年度より1,972万円減の9,251万円となっています。

前年度より増加した主なものは、総務管理費の一般管理費で委託料448万円などであり、減少した主なものは、総務管理費の一般管理費で工事請負費2,530万円などとなっています。

不用額は620万円で、その主なものは総務管理費の一般管理費で役務費137万円、職員手当等98万円、旅費69万円、報酬68万円、負担金補助及び交付金60万円などとなっています。

〔表16〕 支出状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
令和3年度	98,724,000	92,519,369	6,204,631	93.7
令和2年度	122,362,000	112,239,413	10,122,587	91.7
比較増減	△ 23,638,000	△ 19,720,044	△ 3,917,956	2.0

第3款 消防費

消防署の運営に要する経費であり、支出済額は〔表17〕のとおりで前年度より6,184万円減の8億4,639万円となっています。

前年度より増加した主なものは、和寒消防費の常備消防費で職員手当等777万円、給料557万円、士別消防費の新型コロナウイルス感染症対策費で需用費429万円、自動心臓マッサージシステム（293万円）及びCT測定器内蔵オゾン発生装置（119万円）を含む備品購入費427万円などであり、減少した主なものは、士別消防費の消防施設費で備品購入費4,737万円、常備消防費で給料1,186万円、職員手当等760万円、備品購入費692万円などとなっています。

〔表17〕 支出状況

(単位：円、%、ポイント)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
令和3年度	889,895,000	846,393,984	43,501,016	95.1
令和2年度	953,977,000	908,243,525	45,733,475	95.2
比較増減	△ 64,082,000	△ 61,849,541	△ 2,232,459	△ 0.1

消防費の項別内訳は〔表18〕のとおりで、士別消防費は4億8,809万円（構成比57.7%）、和寒消防費は1億4,078万円（構成比16.6%）、剣淵消防費は6,957万円（構成比8.2%）、幌加内消防費は1億4,793万円（構成比17.5%）となっています。

不用額は4,350万円で、その主なものは、士別消防費の非常備消防費で旅費852万円、常備消防費で職員手当等726万円、需用費446万円、共済費270万円、役務費106万円、旅費106万円、幌加内消防費の非常備消防費で旅費130万円、常備消防費で職員手当等123万円などとなっています。

〔表18〕 消防費項別支出内訳

(単位：円、%)

区 分		予算現額	支出済額	構成比	不用額	執行率
士 別 消 防 費	令和3年度	522,441,000	488,097,516	57.7	34,343,484	93.4
	令和2年度	590,628,000	553,547,986	60.9	37,080,014	93.7
和 寒 消 防 費	令和3年度	143,763,000	140,787,546	16.6	2,975,454	97.9
	令和2年度	132,528,000	129,083,679	14.2	3,444,321	97.4
剣 淵 消 防 費	令和3年度	70,961,000	69,576,714	8.2	1,384,286	98.0
	令和2年度	69,112,000	68,058,593	7.5	1,053,407	98.5
幌 加 内 消 防 費	令和3年度	152,730,000	147,932,208	17.5	4,797,792	96.9
	令和2年度	161,709,000	157,553,267	17.3	4,155,733	97.4
合 計	令和3年度	889,895,000	846,393,984	100.0	43,501,016	95.1
	令和2年度	953,977,000	908,243,525	100.0	45,733,475	95.2

〔表 19〕 消防職員数

(単位：人.%)

区 分	実 職 員 数		前年比較		条 例 定 数	
	令和3年度	令和2年度			令和3年度	令和2年度
	R3.4.1現在 ①	R2.4.1現在 ②	人数(①-②)	増減率	R3.4.1現在	R2.4.1現在
消 防 本 部	6	6	0	-	6	6
消 防 署	54	54	0	-	55	54
うち朝日支所	5	5	0	-	-	-
和 寒 支 署	15	14	1	7.1	15	14
剣 淵 支 署	8	8	0	-	9	8
幌 加 内 支 署	15	14	1	7.1	15	15
合 計	98	96	2	2.1	100	97

※職員に係る経費については、消防本部は総務費、消防署及び各支署は各消防費から支出しています。

〔表 20〕 消防団員数

(単位：人.%)

区 分	実 団 員 数		前年比較		条 例 定 数	
	令和3年度	令和2年度			令和3年度	令和2年度
	R3.4.1現在 ①	R2.4.1現在 ②	人数(①-②)	増減率	R3.4.1現在	R2.4.1現在
士 別 市 消 防 団	190	187	3	1.6	212	212
和 寒 町 消 防 団	39	40	△ 1	△ 2.5	48	48
剣 淵 町 消 防 団	39	40	△ 1	△ 2.5	45	45
幌 加 内 町 消 防 団	45	40	5	12.5	56	56
合 計	313	307	6	2.0	361	361

※消防団員に係る経費については、各消防費から支出しています。

第4款 公債費

支出済額は95万円となっており、内訳は元金償還金が94万円、利子償還金が1万円となっています。〔表21〕〔表22〕

〔表21〕 支出状況

(単位：円、%、ポイント)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
令和3年度	961,000	959,792	1,208	99.9
令和2年度	971,000	970,150	850	99.9
比較増減	△ 10,000	△ 10,358	358	-

〔表22〕 公債費の内訳

(単位：円)

令和2年度末 未償還額 ①	令和3年度元利償還額					令和3年度 借入額 ⑤	令和3年度末 未償還額 (①-②+⑤)
	元 金 ②	利 子			計 ④ (②+③)		
		起債償還	一時借入	計 ③			
1,883,340	941,666	18,126	0	18,126	959,792	0	941,674

第5款 予備費

当初予算額10万円の予備費において充用はなく、全額未執行となっています。

〔表23〕 支出状況

(単位：円、%、ポイント)

区 分	予算現額	充用額	不用額	執行率
令和3年度	100,000	0	100,000	-
令和2年度	100,000	0	100,000	-
比較増減	0	0	0	-

《財産に関する調書》

1 公有財産

令和3年度中における公有財産の増減はなく、前年度と同じ6,047.51㎡となっています。

(1) 土地 市又は町有地のため、現在高はありません。

(2) 建物及び工作物

士別消防庁舎（鉄筋コンクリート造2階建）	1,578.69㎡
中央第一分団詰所（鉄骨造平家建）	159.87㎡
中士別分遣所（木造モルタル平家建）	174.15㎡
上士別分遣所（木造モルタル2階建）	171.41㎡
上士別分遣所職員住宅（木造モルタル2階建）	101.25㎡
上士別分団第3部詰所（鉄骨造平家建）	87.48㎡
多寄分遣所（セラミックブロック造平家建）	220.07㎡
温根別分遣所（補強セラミックブロック造平家建）	137.70㎡
温根別分遣所職員住宅（木造モルタル平家建）	58.32㎡
和寒支署消防庁舎（鉄筋コンクリート造一部2階建）	679.97㎡
中和詰所（木造モルタル平家建）	89.10㎡
剣淵支署消防庁舎（鉄筋コンクリート造一部3階建）	430.00㎡
朝日消防庁舎（鉄筋コンクリート造一部2階建）	592.11㎡
幌加内支署消防庁舎（鉄筋コンクリート造2階建）	952.31㎡
朱鞠内分遣所（鉄筋コンクリート造2階建）	273.35㎡
幌加内支署職員待機住宅1（プレキャストコンクリート造平屋建）	133.20㎡
幌加内支署職員待機住宅2（プレキャストコンクリート造平屋建）	133.20㎡
幌加内支署職員待機住宅3（木造ACL板造平屋建）	75.33㎡
合計	18棟 6,047.51㎡

2 物品

重要物品（取得価格50万円以上）は、前年度末現在高は113点（うち車両47点）で、自動心臓マッサージシステム、CT測定器内蔵オゾン発生装置、救命ボート、小型動力ポンプ付積載車の計4点を取得し、モーターサイレン、小型動力ポンプ付積載車の計2点を廃棄した結果、年度末現在高は前年度と比較して2点増加の115点（うち車両47点）となっています。